

2021 J3 ■順位表 ■第7節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）
（注：*印は消化試合が
数字分少ない）

1*1	岩手	14p	+6	10	4
2	富山	14p	+3	11	8 A●
3	宮崎	13p	+2	9	7
4	熊本	12p	+2	9	7 H●
1*5	岐阜	10p	+5	8	3 --- ---
6	八戸	9p	-1	7	8 H△
1*7	鹿児島	8p	+1	8	7
1*8	福島	8p	-1	6	7
1*9	長野	7p	+1	5	4
2*10	沼津	7p	0	3	3
1*11	藤枝	7p	-1	5	6 AO
12	鳥取	7p	-4	6	10 AO
1*13	今治	4p	-2	6	8
1*14	YS横浜	3p	-3	2	5
1*15	讃岐	3p	-8	3	11 HO

次回HomeGame

第9節 vs.Y.S.C.C.横浜

5/30(日) 16:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

today's guest : アスクラロ沼津

2020 J3 12勝 5分 5敗 勝ち点41:12位

直近の対決と結果

2020/09/27
J3 - 18節@長良川

岐阜 3-1 沼津

高崎寛之x2, 中島賢星 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	アスクラロ沼津
2021/05/02 J3 - 07節@長良川 岐阜 0-1 熊本	2021/05/01 J3 - 07節@ピカスタ 讃岐 1-0 沼津
2021/04/25 J3 - 06節@富山 富山 1-0 岐阜	2021/04/25 J3 - 06節@愛鷹 沼津 1-1 藤枝
2021/04/21 J3 - 04節@Axis 鳥取 0-1 岐阜	2021/04/04 J3 - 04節@愛鷹 沼津 1-0 YS横浜

●試合数が少ないため、既に今シーズンの1/4を消化した2021年J3。当初は余裕のある試合日程だったが、新型コロナ感染の影響でGW3連戦となるFC岐阜。その初戦・5/2(日)ホーム熊本戦は、序盤から互いに試合の流れを掴む時間帯があるものの、ゴールを奪うまでには至らない。後半はさらに互いの攻撃が活性化したが、試合終盤に先制点を奪ったのは熊本。岐阜は同点に追いつくべくパワープレイで攻勢を強めるが、熊本のゴールを割るには及ばず。今季の“J同期対決”初戦は、0-1での悔しい敗戦となった。

この結果、FC岐阜は暫定5位に順位が後退。暫定首位・盛岡との勝ち点差は4。しかも盛岡は、岐阜と同様に試合消化が1試合少ない。まだ焦るようなシーズンの経過でも勝ち点差でもないが、しかし常に優勝争いに加わっておかないと、その負債が徐々に蓄積してシーズン終盤に苦しくなってしまうのは、僕らは昨季に経験済みのはずだ。しかも、暫定2位・富山、暫定4位・熊本との上位対戦で連敗してしまったという事実は、厳しく受け止めなくてはならない。だが、終わってしまった試合の結果は覆せない。反省点を改善し、気持ちを引き締め直し、今後の試合で勝ち続けていくしかない。

さて、新型コロナの影響で4/11(日)の開催が中止され、GW3連戦の2戦目として代替開催される、今節の対戦相手は、アスクラロ沼津だ。J3参入4年目の昨季は12位。今井雅隆監督2年目体制の今季は暫定で10位だが、沼津は開幕戦に試合がなく、また今節を残しているため2試合少ないという事実を忘れてはならない。今季の戦績としては2勝1分2敗、岐阜との勝ち点差は3。したがって沼津は上位進出を狙える位置にいるが、前節は5/1(土)アウェイで讃岐に敗れており、今節にかける意気込みは岐阜と同様に強いだろう。だが、J3優勝を目標にしている岐阜としては、ここで3連敗すると優勝争いから一歩後退することとなる。絶対に勝たなくてはならない。

沼津との通算対戦成績は岐阜の1勝1分・4得点2失点。初対戦だった昨季9/6(日)第14節・アウェイ戦では自分たちの判断ミスで#35渡邊りょうに先制点を許し、試合終盤に#16富樫佑太のシュートでなんとか追いついたが、1-1の引き分け。そして9/27(日)第18節ホーム戦は、仲田建二氏(現HC)が岐阜の監督に就任した初戦。前半に2点を挙げた岐阜は、後半に1点を返されるものの、追加点を挙げて3-1と、仲田監督の初陣を勝利で飾った。今節も、再び勝利をこのホーム・長良川で僕たちに見せて欲しい。

沼津の注目選手には、まず#10渡邊りょうを挙げる。昨季7得点を挙げて今季から10番を背負う男は、まだ今季は1得点と苦しんでいるものの、何度も決定機は演出している。昨季の対戦で得点されていることもあり、最も警戒すべき選手だろう。また、昨季JFL・ヴェルスバ大分を優勝に導き、MVPに輝いた#7瓜生昂勢も要注意選手だ。さて、多くの岐阜サポーターが注目しているであろう#11染矢一樹(2009年に岐阜に入団して2013年まで、通算165試合出場・18得点)だが、開幕戦から3試合はスタメン出場していたものの、この2試合はベンチにも入っていない。2016年に沼津に加入して、いまや“沼津の顔”となり、先日にはJ通算300試合出場を達成した“ソメ”だが、昨季と同様に岐阜に凱旋することは適わないかもしれない。少し寂しいところだが、それ以上に、現在の岐阜の選手たちが活躍するところを、今節こそは僕らに見せて貰いたい。

沼津はアウェイでの連戦となるが、デーゲームをこなしての中3日。一方の岐阜はホーム連戦だが、ナイターを戦っての中2日。しかもGW最終日の今節は、悪天候での試合が予想されている。コンディショ的には沼津の方が若干有利と思われるが、そんな状況は、僕らサポーターの応援で逆転させよう。新型コロナ感染拡大の影響で、岐阜県内でも独自の非常事態宣言が出されており、近日中に『まん延防止等重点措置』の適用も想定されている。したがって僕らは感染防止策に充分注意しながら、可能な範囲で選手たちの後押しをしよう。タオマフやゲーフラなどの掲出(振るのは禁止)でスタジアムを緑に染め、(声は出さずに)拍手や鳴り物の音をスタジアムに響かせよう。苦しい状況だからこそ、応援の力を発揮させよう。選手たちは、きっと応えてくれるはずだ。(ささたく)

投稿募集!! gidaidohri@gmail.com

【第7節】岐阜 0-1 熊本

●チーム活動再開後のアウェイ2連戦を1勝1敗。個人的には、勝ち点3でまあ合格点の戦績だと思う。そこから1週間、コンディションを整えてのホーム熊本戦。今季もJ3優勝&J2昇格を争うであろう、「J昇格同期」との重要な一戦。そして何よりも、大木武監督が指揮するチームに負けたくない。僕としても、いつも以上に気持ちの入る大事な試合だった。さて試合は大方の予想通り、ボールを保持しつつ岐阜の守備を崩そうとする熊本に対し、そのボールを奪ってカウンター攻撃を狙う岐阜の構図に。実際、試合序盤から裏抜けした#7村田透馬が触れば…とか、セットプレーから#22船津徹也のシュートが惜しくもサイドネットを揺らすなど、期待できるプレーは見られたが、しかしゴールを奪うことはできない。また、前半は熊本の鋭いボール回しに対応するために岐阜の両WBが下がり気味で、ほとんど5バック(苦笑)だったこともあり、岐阜は中盤の人数が足りず、ボールを繋いで攻める場面はあまり見られない。それでも岐阜が後半に勝負をかけてくるであろうと、僕を含めて誰もが思っていただろう。そして後半直後に、岐阜は攻勢をかける。ロングカウンターで#10川西翔太がGKと1対1になった場面、あの決定機は、絶対に決めて欲しかった…(溜息)。というか、中断前の#10川西ならば楽々と決めてたんじゃないかと僕は思ってしまう。まだコンディションが戻っていないのか、岐阜の得点源だけに少し不安材料だ。そして他の岐阜の選手たちも、富山戦ほどではないにしろ、動きが少し鈍い。コーディネイトされた守備に関しては集中して動いているものの、跳ね返ったボールへの反応や、ボールを奪ってから攻撃への切り替えのところなどで、動き出しの反応やプレーの精度が悪く、ボールを再び熊本に奪われる場面が何度か出てくる。その悪循環で、5バック気味になってスペースの空いた中盤を熊本に使われ、さらに選手たちの疲労が増す。失点した場面も、DFライン前の空いたスペースを#14本田拓也が無理してカバーしにいったファール。そのプレーで#14本田が足を痛めてピッチを出ている中でコース良く蹴られたFKを#20GK桐畑和繁が上手く弾いたものの、熊本の選手の方が反応が早く、ゴールに蹴り込まれてしまった。大木監督との対戦に、選手たちや安間監督が気負いすぎているということは流石にないと思う(苦笑)。だけど、まだコンディションが悪いのか、それともまだ意識が足りないのか、目指しているはずの『中盤でのアグレッシブな寄せと攻守の切り替え』が熊本相手には足りなかったのは事実。失点してからの岐阜はパワープレーに切り替えて、そして#18服部康平のポストプレーが富山戦と同様に効いたし、#11レレウの撃ったシュートも惜しかったけれど、それでも熊本からゴールを奪えない。ホーム初見参となった#42柏木陽介は、富山戦よりは動きも良かったし見せ場もつくったけれど、あと少しチームにフィットしていないように見えたとし、もう少しプレー時間が必要かもしれないと思った。結局、お互いに10本以上、そして岐阜は熊本よりも多くシュートを打ちながら、0-1での悔しい敗戦となってしまった。悔しすぎるし痛すぎる連敗。しかし次の試合はすぐにやってくる。コンディションは戻らないだろうけれど、それでもチーム一丸となって戦い、今節こそゴールを奪って勝利を。その歓喜を、僕らも一緒に味わいたい。(ささたく)

●う～ん、どっちにも転がりそうな展開をモノに出来ず連敗。昇格に向けての禁忌を、昇格のライバルになりそうな相手にやっちゃった。これで三連勝もほとんどチャラになっちゃた感じかな?とにかく、ウチに図抜けた戦闘力があるワケじゃないというコトが判明したのはよかったんじゃないか? 讃岐戦の勝ち方を勘違いしちゃいけないというコトがわかったんだからね。まあ、開始早々のチャンスを始め、決定機を決め切らないとこうなるよね。GKとの1対1も決められなかったんだから、

こういう結果もしかたないよね。

敗戦に繋がったFK。桐畑はよく止めたよ。あとは運がなかった。弾いた場所が悪かった。それでも、彼は反省しているだろうけど。それより、ファウルしなければならなかった経緯を反省してほしいな。アレはイラナイヤツだったと思う。それにしても、今節もせっかく、J2含めても上位の観客数だったのに残念だ。スポンサー様のサンクスマッチとか大入りの試合とかには、ホント、勝てないね。それと、昔からの『ゴール出んウィーク』(某巨大掲示板より)。この辺りを克服しないと、上へ行っても頭打ちになってしまうような気がする。

あと、終了間際のミスパスには、ちょっと脱力だったゾ。それとPKじゃなかったんだから、いつまでも寝転んでんじやない。痛んでるのならしかたないが、負けてるんだからスグに戦ってほしかった。そんな甘さはJ3では通用しない。番号入り限定ユニオ申込んだコトを後悔させるようなプレーはカンベンな(苦笑)。次からは頼むよ? >42 番開幕戦以来の現地を、久しぶりにアウェイ側メインで観戦したんだけど、スタジアムの雰囲気はすごくよかった。『サンバ』はもちろん、試合前のかさなるステージでもお披露目された『二頭波』もすごくイイ感じだった。クラブで作り出される高揚感とかがメッチャよかった。勝ちたかったね。でも、次節は、スグにやってくる。沼津戦からやり直そう!(ぐん)

●おそらく、「ていねいにやらない」というのは安間監督の志向なのだろう。最終ラインでボールを奪っても、そこからの最初の縦パスが実は縦パスではなく「とりあえず縦に蹴っているだけ」なのがほとんどなのも、『つなげ』たつてうまくいかなんだから」という割り切りの結果なのだろう。おかげで、前半の岐阜のサッカーは、対戦相手の大木武氏が岐阜の監督だった頃の「とにかく徹底的に『つなげ』」というサッカーに対するアンチテーゼの具現で、そう考えると見ごたえ自体はあった(苦笑)。結果にはつながらなかったけどね。これでコロナ活動停止明けは1勝2敗。とにかく『勝ち身が薄い』。得点はわずかに1。それも、決めた本人が「日頃の行いの結果」と認めるくらい(笑)の、チームとしてゲットしたわけではないゴール。一方の失点は2。PKとFKこぼれ。負けた2試合とも「どっちに転んでもおかしくなかった」という解釈もあるだろうけど、果たしてそうだろうか。今季の岐阜は「膠着戦に持ち込んでしぶとく1点を奪いしぶとく勝ち点3を得る」ことを志向しているように映る。「どっちに転んでもおかしくない試合をウチに転ばせる」のが今季の岐阜のテーゼで、そうなると、富山戦と熊本戦の試合展開はそれこそ「自分自身に対するアンチテーゼの具現」になってしまっている。今後を考えると、それは致命的な基本設計ミスになりかねない。(吉田鑄造)

第101回天皇杯について

●昨季はコロナ禍でJ3チームはリーグ優勝の秋田のみが参加資格を得た天皇杯ですが、今季は県代表決定戦が5/8に行われる予定です。対戦相手はFC岐阜 SECOND(以下『セカンド』)。FC岐阜(以下『トップ』)がJ2に所属していた時は本大会シードだったので、トップとセカンドが公式戦で戦うのは、トップが東海1部に所属の2006年4月23日以来、15年ぶりではないかと思われます(当時のセカンドは『FC岐阜/B』というチーム名でした。メドウで対戦し、4-2でトップが勝利しています)。残念ながら、県代表決定戦は無観客での開催と岐阜県協会から公式発表がありました。NHK岐阜でテレビ中継がされるそうですので、そちらで観戦しましょう。勝者は岐阜県代表として5/22に静岡県代表(常葉大学 vs HondaFCの勝者。J3勢は藤枝も沼津も敗退)と天皇杯1回戦を戦うことになっています。(吉田鑄造)